

東寺方複合施設の整備に向けた地域協議会

子どもの居場所に関する
これまでの意見について

発表者：池埜



もくじ

① 現状と課題について

② 方針を考える上でのキーワード

③ 建物や周辺、仕組みに関する具体的な提案

④ まとめ

①

現状と課題について

子どもたち・保護者にとって児童館とは・・・居場所とは・・・
求められていることは・・・

乳幼児・保護者

- 子どもを安心して遊ばせられる場所
- 同じ月齢の子どもと遊ばせられる場所
- 見守ってくださる職員さんがいる
- 同じ悩みを持った保護者同士で世間話ができる場所
- 地域とつながれる場所

小学生・保護者

- 子どもを安心して遊ばせられる場所
- 他校の子とも遊べる場所
- 見守ってくださる職員さんがいる
- 宿題をしてから遊べる
- 地域とつながれる場所

中学生、高校生・保護者

- 保護者が安心して送り出せる場所
- 世代の違う子たちとの交流
- 職場体験でお世話になった
- 見守ってくださる職員さんがいる。
- 地域とつながれる場所

①

現状と課題について

子どもたち・保護者にとって児童館とは・・・

現状・課題

乳幼児・保護者

- 入口が暗く入りにくい
- トイレが古くトイレ中の子どもには利用しにくい
- 耐震に不安を感じる
- 大きいお兄さんお姉さんが同じ空間で遊ぶ際不安を感じる

小学生・保護者

- 建物が古く暗い
- おもちゃなど充実している割に利用者が少なく感じる
- トイレが古く利用しにくい
- ボール遊びがしにくい
- 耐震面、衛生面に不安を感じていた

中学生、高校生・保護者

- 楽しめるものが少ない
- この年代の子どもの居場所になりづらい
- テスト勉強などできるような場所がない
- 施設の古さ、耐震、衛生面も気になる
- Wi-Fiがない

①

現状と課題について

アンケート結果について

Googleフォームにてアンケートを取りました。

二小・寺小・愛和小・和田中はらくらく連絡網+、マチコミを通じてや、お友達に共有していただきました。

乳幼児世代は保護者同士で情報共有していただきました。

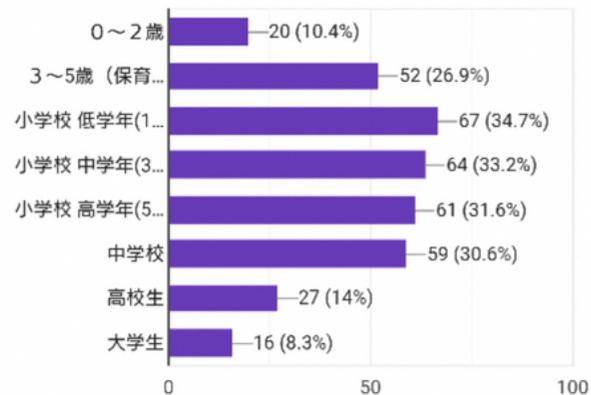
東寺方・一ノ宮・桜ヶ丘・東愛宕児童館、かるがも館にチラシを置かせていただきました。

193件のご回答いただきました。

ご協力くださいましたみなさまに感謝いたします。

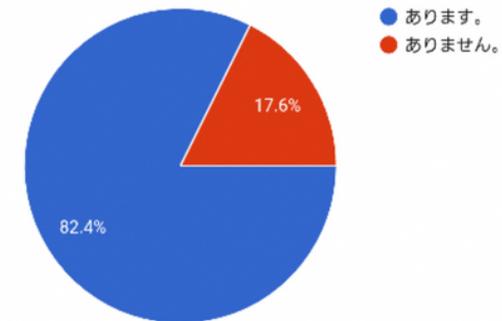
【お子さまの年齢は？（ごきょうだい全て）】

193 件の回答



【東寺方児童館を利用したことがありますか？】

193 件の回答



① 現状と課題について

【アンケート回答者、現在の施設を利用している方の感想のまとめ】

「孤独になりがちな乳幼児の子育ての支えの場」

乳幼児の子どもを持つ保護者にとっては、地域の同年代の保護者と知り合える非常に貴重な場となっており、孤独になりがちな子育て中の保護者にとっての気分転換の場ともなっているという意見が非常に多かった。

地域住民をつなげる場であり、常に児童館の職員がいることで気軽に話をできたり、聞いていただけたり、常任していることが利用者の距離を近づけていて、職員の皆さんの雰囲気や気軽に声をかけていただけることが、長年、温かく通いやすい雰囲気を作り続けていることがわかる。

また、乳幼児期に通っていた子どもが、幼稚園・小学生になっても通い続けていることで、保護者も知っている大人が近くにいること、職員の方が子どもを知っていることで、何かあったときに連絡をくれることが安心感を与えてくれている。また、何かあったときに子どもたちも頼れる場所であること、子どもたちも程よい距離感の職員がいることで安心し、居心地のよい場所になっていることがあげられる。

乳幼児期の子育てをする保護者が通いやすく、気軽に来て利用しやすい場となっていることが、長年子どもが関わっていくのに安心できる施設となっていることにつながっていると感じた。

「施設への不安感」

その一方で、耐震性が心配で入りづらい、暗い印象、施設のおもちゃが古い、トイレが和式で入りづらい等、中にいる人、雰囲気は温かいものの、施設の設備面でマイナスな印象となっている意見が多くあった。

施設が新しく使いやすくなることでよりよい施設となるような印象を受けた。

「図書館について」

図書館の利用についての感想も多くみられた。図書館と児童館が一緒にあることが便利であること、本館や別の図書館で借りたものを東寺方図書館で返却できること、また取り寄せて、受け取れることも非常にメリットになっている。

② 方針を考える上でのキーワード

①どの世代にも求められている『安心して遊べる・遊ばせられる施設』であること

そのためには、商業施設にあるような『プレイルーム』ただスペースを確保しただけというようなものにしてはならない。

②どの世代にも求められている『信頼性・専門性のある人材』の存在

ただの見守りではなく、関係性を築ける人材が施設にいて安心して頼れる場になる。また行きたいと思える施設になれば、継続利用にもつながる。

③どの世代にも求められている『地域とつながれる場所』

いろんな世代が交流できる施設であることが重要。

見守ってくれる大人の目は施設職員さんだけでなく地域の大人の目も重要

子どもたちの声は地域を明るくします。

各ご家庭で保護者が見守ることが基本ですが、地域の大人が地域の子どもたちを温かい目で見守ることも重要。

④ニーズに合った施設

気軽に立ち寄れる施設＝また利用したくなる施設であることも重要。

Wi-Fiが使える、カフェがある、図書館の利用時間も長く・・・など求められていることに応えられる施設であって欲しい。

③ 建物や周辺、仕組みに関する具体的な提案

- 年齢に応じた利用ができるような空間の分離
- 自習もできるような静かに集中して過ごせる空間
- カフェのように自由に過ごせる空間
- 地域の大人とも交流のできる空間
- Wi-Fi
- 図書館の開館時間延長

④まとめ

- 近隣の保護者が期待していること
- アンケート結果からわかったこと
- 愛宕児童館が児童センターになることへの期待
- 東寺方児童館がなくなり移動児童館になることへの不安
- 近隣の保護者の思い

④まとめ

- 愛宕児童館が児童センターになることへの期待
- 東寺方児童館がなくなり移動児童館になることへの不安

【市の考え】

少子化だけではなく、本格的な人口減少社会を迎え、行政においても人的・物的資源が限られるなか「児童館の今後のあり方基本方針」に示した児童館に再編していく必要があると考え、特色ある自然環境で敷地の広い愛宕児童館をアウトドアに特化した基幹となる児童館に改修し東寺方児童館と統合、児童センターとし、東寺方複合施設では子どもの居場所を確保しながら移動児童館を展開していく方針。

【保護者の考え】

アンケート結果からも地域の保護者は『児童館』の継続を望んでいる。この地域の人口は増えている。

児童館でなくなった際の子どもたちの『居場所』は確保できるのか？

できるだけ今に近い形で運営していただきたい。

放課後子ども教室が週5日となる予定ではあるものの空き教室問題や猛暑の中で遊ぶ場所が限られる中『居場所』が減ってしまう不安。

東寺方から愛宕まで通う道のりにも不安を感じる。

児童センターへの期待もあるが手放しでは喜べない。



**この地域のすべての子どもたちが利用しやすい施設
になるよう協議会に参加していきたいと思います。**

お聞きいただきありがとうございました。

児童館を利用する保護者代表

